

議 会

なかたね町

だより

第141号 平成28年11月10日発行

平成28年第3回定例会

平成28年度補正予算 ②～③

一般質問（8人） ④～⑪

所管事務調査 ⑫

一部事務組合 ⑬

条例・臨時会・決算認定・その他 ⑭～⑮

議会の動き・編集後記 ⑯



商店街にぎわい祭り《綱引き大会》
（来島中の自衛隊員も参加）

平成28年9月定例会

9月定例会は、9月14日に招集され、9月21日までの8日間の会期で開かれました。初日は、7人(日高和典・下田敬三・徳永紹道・池山朝生・永瀆一則・戸田和代・瀆脇重樹)の議員が一般質問を行いました。

9月15日の2日目は、初日に続き、1人(山元みさ子)の議員が一般質問を行い、その後、産業厚生常任委員長の所管事務調査報告、中種子町健全化判断比率等の報告、条例及び平成28年度補正予算など8議案を原案どおり可決。

また、平成27年度中種子町一般会計歳入歳出決算認定他6件が上程され、決算特別委員会へ付託されました。

最終日(21日)は、町立体育館大規模改修工事請負契約、補正予算を可決したほか、固定資産評価審査委員会委員3名の選任及び教育委員1名の任命に同意しました。

平成28年度補正予算

◆一般会計補正予算 (第4号)

今回の補正は、普通交付税及び国県支出金の決定、内示等による調整と、6月補正予算以降必要となった経費の追加、事業量の増減に伴う調整を行うものです。

【歳入】

「町税」は、軽自動車税課税対象台数増による増額。

「地方交付税・国・県支出金」は、決定・内示等による増額。

「寄附金」は、農業公社が導入する大型トラクターへの種子屋久農協からの寄附金。

「諸収入」は、畜産担い手育成総合整備事業個人負担金や中南海衛生管

理組合の前年度精算金及び電気・熱自立的普及促進事業補助金の計上。

「町債」は、過疎債及び辺地債の年間所要額が計画額を超えたための減額調整。

「繰入金」は、財源調整のため財政調整基金の減額です。

【歳出】

「総務費」は、職員共済組合負担金の追加費用率の変更による減額と、社会保障・税番号制度総合運用テスト負担金の増額。

「民生費」は、国県支出金等前年度精算金、国保及び介護保険特別会計への繰出金の増額。

「衛生費」は、簡易水道

事業特別会計への繰出金とB型肝炎予防接種委託料の増額。

「農林水産業費」は、

作物台帳デジタルマップ事業経費と農業機械リース及び大型トラクター導入事業経費の増額。

「畜産業経費」について

では、肉用牛牛舎整備費の補助金の増額。また、再生可能エネルギー電気・熱利用設備調査委託料と農道農地等維持補修経費の計上。

「土木費」は、道路改良舗装費の事業内組み替え。住宅管理費は、シロアリ被害による工事請負費の増額。

「教育費」は、種子島

こりーなにかかる施設の修繕料と、給食センターのガス回転釜購入

の増額。

「災害復旧費」は、今熊野川護岸決壊による工事請負費の増額。

「公債費」は、長期債利子償還金の減額です。

◆一般会計補正予算 (第5号)

10月14日に開催される全国消防操法大会に、本町の中央分団が出場するための経費を計上するものです。

各会計毎の補正額と予算の総額は別表のとおりです。

別表

平成28年度会計別予算額

会計名 (補正号数)		補正額	補正後の予算額
一般会計 (第4号)		7,622万円	68億3,181万円
(第5号)		607万円	68億3,788万円
特別会計	国民健康保険会計 (第2号)	478万円	15億7,745万円
	簡易水道事業会計 (第2号)	237万円	3億3,171万円
	介護保険事業会計 (第2号)	1,213万円	10億9,289万円
	後期高齢者医療会計 (第2号)	△329万円	1億4,172万円
水道事業会計(収益的支出) (第2号)		△82万円	1億7,935万円

補正予算の主なもの



種子島こりーな非常照明取替
消防設備修繕 **330万円**



給食センターガス回転釜更新
285万円



今熊野川河川災害復旧工事費
750万円

【その他主なもの】

- ・国保・介護保険・簡易水道事業特別会計
繰出金 **2,734万円**
- ・産地パワーアップ生産支援事業
(農業機械リース) **1,010万円**
- ・畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業
(肉用牛子牛牛舎) **806万円**
- ・再生可能エネルギー電気熱利用設備調査
781万円
- ・油久住宅改修 **110万円**



田淵川 寿広 町長

町長 一つ目の「雇用創出戦略」は、農業を中心とした農地台帳デジタル凶面化システム事業を展開しています。町業を展開しています。町6次産業化等推進協議会を設立し県大隅加工センターへの研修事業を実施しています。次に

県本土に、離島が団結して宿泊施設を建設すべきでは

町長／離島振興協議会の中でも常に要望していく



日高 和典 議員

日高 地方創生の取り組みとして離島学校と住民のために、県本土に宿泊施設を建設すべきでは。

人口ビジョンについて

町長 実現不可能ではないと考え、県へ前向きに要望します。全ての事で町民の皆様が恩恵を受けられる事に関しては、要望を続けていますので、その一部として提案をいたします。

日高 昨年9月、若者定住対策として、4つの目指すべき将来の方向性を掲げているが、取り組み状況と効果は。

町長 一つ目の「雇用創出戦略」は、農業を中心とした農地台帳デジタル凶面化システム事業を展開しています。町業を展開しています。町6次産業化等推進協議会を設立し県大隅加工センターへの研修事業を実施しています。次に

「人のビックウェーブ戦略」は、滞在型観光への転換による人材育成・経済効果の拡大に取り組んでいます。3つ目の「子育て世代が住みやすい町づくり戦略」は、独身男女結婚対策事業を継続し、地域の活性化に努めています。最後に「特色ある地域づくり戦略」は、地域おこし協力隊の募集を行っていただきます。都会目線からの観光・特産品開発の対策や本町のPR戦略を実施します。効果は、平成31年度を目標年度として、PDCAサイクル検証を行っています。総合戦略については、改訂版として見直しをしたいと考えています。

※PDCAサイクル：企業等の活動において、業務を継続的に改善していく手法の一つ。Plan(プラン・計画)、Do(ドゥ・実行)、Check(チェック・評価)、Action(アクション・行動)の頭文字を取ったもの。

学校教育について

日高 町の発展は教育に大きく左右されます。種子島中央高校の定員確保への取り組みは。

教育長 高校側と活性化策について、通学の利便性や保護者の経済的負担の軽減、教育活動の積極的なPRを行う等の意見交換を行いました。義務教育ではない高等学校に対する支援の難しさもあります。どのような支援が必要か十分な調査や研究が必要であると考えます。

日高 現在、星原小学校は9名、納官小学校が10名の児童数です。町内の野間小学校以外の6つの小規模校への取り組みは。

教育長 今後、市町村にとつて大きな課題であるとは承知しています。現状では、統廃合に

公約の実績について

日高 町長は4つの約束と17の対策をマニフェストとして配布しましたが、これまでの実績は。

町長 農林水産業の観点からは、輪作体系の推進・サツマイモのバイオ苗の供給事業等に取り組んでいます。畜産振興では、畜産クラスター事業の要望を行っています。

日高 町長に就任して、まだ1年5ヶ月と捉えるか、すでにと捉えるかにより考え方や行動が違ってきます。公約の100%実現目指し、活動していただきたいと思います。



北之園 千春 教育長

車座対話の計画は

日高 本町でも、早めの県知事との意見交換会を持つべきです。県知事との車座対話の計画は。

町長 現段階では県からも連絡はいただいていません。早期の熊毛地区での開催を要望したいと思っています。



社会福祉について

福祉施設への指導は

町長／県の監督指導下にあるが連携は取り合う

下田 敬三 議員

町長 子ども子育て支援の充実、幸せに満ちた高齢社会の実現、障がい者の社会参加と自立支援等の柱として各福祉

下田 福祉事業が多岐にわたる。福祉環境課の職員配置数は適正であるか。

町長 原則、県の監督指導下であります。町としても住民に最も身近な行政機関であり、地域福祉サービスを支援し、福祉施設と密接に連携しています。保護者や入居者の相談ごと、町でも受け、検討し、内容によっては県に報告もしながら解消しています。

下田 昨今、障がい者や高齢者、子どもへの虐待・暴行、障害者施設での凶悪殺人事件等が発生しております。町は日頃から福祉施設等への指導・助言等を行っているのか。

※社会福祉士・・・
身体上や精神上的の障害または日常生活を営むのに支障がある者の福祉に関する相談に応じ、助言・指導、福祉サービスを提供する者

下田 社会福祉士・精神保健福祉士を採用し一般職員の負担軽減を図るべきではないか。
町長 児童相談所、社会福祉協議会、保健センター、地域包括支援センター、各福祉事業所、病院などの専門職の協力を得ながら福祉業務に当たっています。今後、福祉関連に限らず、専門職の資格を持った職員採用を検討します。

施策を進めております。行財政改革の中では、職員を増やすことも厳しく、近年、委託職員やパート職員を増員して住民サービスに努めています。

町長 駆除には幾つかの方策があるようです

下田 以前に、タニシの駆除剤を配布していた時期があったが、今後タニシの根絶に向け、更なる対策が必要かと思われるが、その説明を求めます。

下田 近年、水田に発生するジャンボタニシが増加しているが、管内の発生状況を把握しているか。
町長 星原、納官、増田、野間、南界地区で主に発生し、共済組合にも被害申請が提出されています。

農作物の損害防止について

※精神保健福祉士・・・
精神的な障害のある者に対して、日常生活がスムーズに営めるよう、相談や生活支援、助言、訓練、社会参加の手助けを行う者

下田 将来建設となる場合は、民族資料館と併せた展示施設となるべきでないか。

町長 既存の文化・体育施設の老朽化による改修を優先し、財政上展示施設の建設が先送りされています。しかし、町単独だけでなく文化庁等への要請も含め、建設に取り組みべきと考えます。

下田 平成19年に、中種子町出身の故日高部画伯の千鶴夫人から寄贈された絵画等を展示する目的に、種子島こりーなの敷地内に展示施設を建設するとしているが、その進捗状況の説明を求めます。

自主文化事業について

が、関係機関と一体となり、根絶に向けた農家の意識改革を図りながら、今後、水稲部会とも協議を重ね駆除策を調査・研究することに努めます。

町長 南種子町の広田ミュージアムに、町外から8千人の入館者がいることから、資料館も併設した展示室が完成したなら、流利的に来館者が見込まれる思いもあります。
教育長 教育委員会としては、日高画伯の絵画に子どもたちが身近に鑑賞し感銘を受け、創作意欲を呼び出し、第2・第3の画伯と呼ばれる人が輩出されることを期待できる教育活動が展開できたらと思います。



▲日高 部 画伯の絵画



徳永 紹道 議員

油久小学校屋内運動場改修工事について

油久小学校
屋内運動場

副町長／一式工事での発注に間違いはない

徳永 私は、この1年間油久小学校の問題を取り上げてきました。町民の中には「いつまで同じ質問をしているんだ」という声もあります。議員の中にもあります。

しかし私は、議会が行政のチェックをなおざりにしては町政の発展は望めないと考えます。

議員として町民の負託に応えるため、行政のチェックをして、誤りを正し、二度と同じことを起こさせないために問題を解明する。このことを諦めるわけにはいかないと考えるからです。

中種子町は、油久小学校屋内運動場改修工事を建築一式で発注したことがそもそも間違いです。

建築一式工事とは、建物の新築・増築、このよ

うな場合、総合的な企画・指導・調整のもとに建築物を建設する工事をいいます。油久小学校の工事は改修工事です。

改修工事は建築一式ではできません。業者は営利を追求します。

しかし、公務であります建設課は、建設業法にのっとり、法律にうたわ

れているものを間違いないと聞き合わせをしました。

熊毛支庁にも行って聞いてみました。設計状況を見せて判断をいただき、建築一式工事ですべき工事であるという県の指導もいただきました。

私は、一式工事を出したことが間違いだとは思っていません。ただ、一式工事の中に含まれる単体工事については

でございますが、昨年の

6月議会からの議員はじめ、他の議員さんたちの質問がある中で、建設課を含め副町長も、しっかりと勉強していただきますのほうから説明させていただきます。

副町長 今回の油久小学校の工事について私も、県のほうにいろいろと聞き合わせをしました。

熊毛支庁にも行って聞いてみました。設計状況を見せて判断をいただき、建築一式工事ですべき工事であるという県の指導もいただきました。

私は、一式工事を出したことが間違いだとは思っていません。ただ、一式工事の中に含まれる単体工事については

でございますが、昨年の

6月議会からの議員はじめ、他の議員さんたちの質問がある中で、建設課を含め副町長も、しっかりと勉強していただきますのほうから説明させていただきます。

熊毛支庁にも行って聞いてみました。設計状況を見せて判断をいただき、建築一式工事ですべき工事であるという県の指導もいただきました。

私は、一式工事を出したことが間違いだとは思っていません。ただ、一式工事の中に含まれる単体工事については

町長 建設業法第3条に違反します。

徳永 須賀建設は、田添サッシが一般建設業の免許を持たないことを知りながら1800万円を超える工事をさせたことは建設業法に違反しないのか。

町長 工事完成後に、町民の御指摘で聞き取り調査を行ってわかりました。特に建具工事の孫請け契約は、建設業法第3条に違反します。

徳永 建設課は業者に對して、再三の下請の確認、法にのっとった手続きの指導をしたが、指導に反する行為があったことがわかっています。

私は、一式工事を出したことが間違いだとは思っていません。ただ、一式工事の中に含まれる単体工事については

でございますが、昨年の

6月議会からの議員はじめ、他の議員さんたちの質問がある中で、建設課を含め副町長も、しっかりと勉強していただきますのほうから説明させていただきます。

熊毛支庁にも行って聞いてみました。設計状況を見せて判断をいただき、建築一式工事ですべき工事であるという県の指導もいただきました。

私は、一式工事を出したことが間違いだとは思っていません。ただ、一式工事の中に含まれる単体工事については



無免許運転
は許すな

「油久小学校屋内運動場改修工事」、問題の
解決の糸口が見えないのはなぜか。
この問題の本質はなにか。

町長／建設業法違反があった。

池山 朝生 議員

け・下請・個人・法人を問わず、建設工事を請け負う者は、29種の建設

業の種類(業種)ごとに国交大臣または知事の許可を受けなければならぬ。「建築工事一式」とは建物の新築、増築など、総合的な企画、指導、調整のもとに建築物を建設する工事をいう。改修工事(リフォーム)、外壁補修工事などは、仮に規模が大きな工事であっても「建築一式工事」には該当しない。「二式工事の建設許可を持っていないれば、他の専門工事の建設業許可は不要」といった誤解を受けやすい。(事実そのように解釈している建設業者も多い。)

は全く別の許可業種であり、一式工事の建設業許可を受けた業者が他

の専門工事(軽微な建設工事を除く)を単独で請け負う場合は、その専門工事業の建設業許可を受けなければならない」という事です。ですから、油久小の工事は、改修工事であり一式工事ではない。そこに当局の大きな間違いがある。つまりが建設業法違反なんですよ。

「業者処分に第三者の関与と認める 公務員としてあるまじき行為」

池山 建設業許可代行センターいわゆる(建設業許可申請のプロ)行政書士が明確に述べている。その内容は、《元請

一式工事と専門工事は全く別の許可業種であり、一式工事の建設業許可を受けた業者が他

池山 第三者とは誰か。

池山 私は、徳永高度氏から名前を出すことの了解と真実を話すよ

池山 免許を持たない業者に入札させ、落札させた事実を告発した唯一免許を持っている種子町民である業者が「余計な事を言ったと、業界・当局から弾き出され冷や飯を食わされている事実。」

池山 建設業許可代行センターいわゆる(建設業許可申請のプロ)行政書士が明確に述べている。その内容は、《元請

池山 第三者とは誰か。

池山 私は、徳永高度氏から名前を出すことの了解と真実を話すよ

池山 免許を持たない業者に入札させ、落札させた事実を告発した唯一免許を持っている種子町民である業者が「余計な事を言ったと、業界・当局から弾き出され冷や飯を食わされている事実。」

池山 免許を持たない業者に入札させ、落札させた事実を告発した唯一免許を持っている種子町民である業者が「余計な事を言ったと、業界・当局から弾き出され冷や飯を食わされている事実。」

池山 私は、徳永高度氏から名前を出すことの了解と真実を話すよ

池山 免許を持たない業者に入札させ、落札させた事実を告発した唯一免許を持っている種子町民である業者が「余計な事を言ったと、業界・当局から弾き出され冷や飯を食わされている事実。」



永瀆 一則 議員

公共施設管理

公共施設に植えている松の維持管理は

町長／薬剤散布などを施し、維持管理に努める

永瀆 運動公園と熊野レクリエーション村に枯れた松が多く景観の悪さが際立つ。つい最近処分されているが、どのような手入れをしているのか。

町長 松に限らず、木花類の手入れ等も管理公社に委託しています。松の管理については、スミチオン乳剤を散布するなど手入れはしているが、今後も松の保護には努めてまいります。

永瀆 ちなみに西之表市は、県の助成で維持管理をしていると聞くが、わが町は。

町長 助成はいただいております。町単独で行っております。

永瀆 補助事業を、負担軽減のために大いに活用すべきだと思いま

す。原因はセンチュウによるもので、それを運ぶのがマダラカミキリで、枯死木に卵を産み付ける。処分方法は埋めるか焼却等とされているが、今回の処分方法は。

町長 処分については伐採し、薬剤散布後仮置きをし焼却処分をしています。今後も必要に応じて専門家の意見をきくなど、被害に効果のある対処を考えてまいります。

永瀆 公益的機能の高い松の保護と同時に景観の維持に努めて欲しい。



▲運動公園内の松

空き家対策について

永瀆 昨年12月定例会にて、空き家の数について「今後調査をしていく」との答弁でしたが、その後の結果は。

町長 平成26年の調査によると、住居可能と思われる家は130戸で、廃墟を含めた具体的数値は把握できていません。今後、地方創生加速化交付金を活用し、今年度までに調査を行い、空き家対策の推進活用を図ろうと取り組んでいる所です。

永瀆 空き家対策措置法により、放置空き家は税金が6倍になる。また、持ち主に除去・修繕など勧告ができるが、これまでで執行された事例があるのか。

町長 これまでに勧

告・命令などはありません。税金については、住宅用地の特例につき、建物の敷地になつてい土地は、住宅1戸につき敷地200㎡までの固定資産税を6分の1に、またそれ以上の敷地の場合、床面積の1.0倍までの税金を3分の1に軽減する措置でございます。

永瀆 国は、今年度空き家対策支援事業に20億円を予算化しているが、大いに利用して活性化につなげてほしい。

空き缶等不法投棄について

永瀆 平成7年に種子島1市2町で、空き缶等散乱防止条例が制定されているものの全然機能していない。どんな活動をしてきたのか。

町長 可能な限り回収

し、不法投棄防止の看板を立てたり、防災無線での啓発、また、悪質と思われる場合は警察に通報等していますが、再度徹底して周知啓発をお願いしてまいります。

永瀆 この条例を1市2町足並みを揃え、復活すべきと思うが町長の所見は。

町長 西之表市、南種町へ早急に呼びかけ、協議会も年1度は開催して、条例に基づき統一した啓発活動に努めてまいります。

永瀆 条例を復活し、島内全域の美化に努めていくよう要望します。



戸田 和代 議員

買い物弱者対策

「総合的に判断する」結果は

町長／調査がまだ十分でない

戸田 大字地区にある商店から何キロも離れている集落が大字には多くある。また、高齢者ばかりでなく、大字地区

町長 大字地域の商店数の状況、隣接市町の移動販売の実施状況、移動販売事業に対する国等の補助事業の有無について調査をしましたが、これまでの調査が検討材料として十分でなく、さらに調査を進め検討

戸田 買い物弱者対策については再度質問します。対象とする地域、事業の経営体、民間でできない場合の町財政の関わり方、総合的に判断する必要があるので調査検討するとの答弁であったが、その結果は。

戸田 中種子の高齢化率は35%を超え、大字にいくほど高くなってきた

町長 作業着のままで購入物に行ける大字の店。移動販売は、これから先重要になると思います。単独事業になると、予算的にどうなのか、また、ルートがどうなるのか。商工会関連とも連携をとる必要があると思われま

には農業振興地域がほとんど。何が大変かという買い物と言う。着替えをして行かなければならないのがネック。また、高齢者が無理して車や単車の運転をしている状況で、買い物や病院へ行くためと言う。この事業を単独でも良いから起こしてほしい。

戸田 演技をさせていただきました。元中種子の夏の最大の

町長 費用対効果というだけでなく、そういう形がしっかりと体制ができてくればやるべき必要性はあります。

ております。県下でも既に事業に取り組んでいる地域があり、安否確認、見て買う楽しみ、情報交換と、どこの地域に住んでも安心して生活できる環境づくりが急務だと思いが。

よいらーいき祭りを住民参加型祭りに

戸田 演技種目が少ないとか踊りが少ないとかではなく、住民も一緒

町長 子ども会、婦人会、金融機関、保健所、各種団体の皆様の参加をいただき、交通安全指導員やボランティアスタッフのおかげで無事に終わりました。限られた予算の範囲の中のこと、他市町の祭りも参考にしながら検討したいと思

イベント。ただ、隣接する市町に比べると物足りなさがあると思う。住民参加型の夏祭り、例えば夏祭りには浴衣で参加しようとか、浴衣で参加された方には抽選で何か当たりますよ、というアピールして盛り上げる考えは。

に参加するという気持ちを持って、行政や各種団体任せでなく、一緒にやって夏祭りを盛り上げるためには、浴衣で参加するとか、いっぱいアイデアを出していただきたい。



▲よいらーいき祭り



演 重樹 議員

避難訓練の成果は

町長／確実に防災意識は高まっている

避難訓練

演 脇 各校区での避難訓練を行なっているが、どのような成果が上がっているのか。

町長 訓練を実施することにより、町民の防災意識が向上していると思います。災害が発生した時の避難経路の確認、情報収集や伝達の方法など、自助の意識づけが大きな成果ではと考えています。以前よりは確実に町民の防災意識が高まっていると思います。

演 脇 避難訓練の意識を上げていく必要があると思うが、どのようなことを考えているのか。

町長 消防団等に協力を依頼して、各住民への参加の呼びかけを続けて行きたいと考えています。

演 脇 避難所の耐震対策の計画はどのような

なっているのか。

総務課長 公共施設の避難所の耐震対策は済んでいます。各集落の公民館等の避難所については計画はありません。

演 脇 訓練での課題が上がってきていると思うが、今後の対策をどう考えているのか。

町長 問題点や課題が上がってきているので、今後、地震災害・豪雨災害等を設定した防災訓練に生かしたいと思えます。各家庭から防災対策について考え、そして集落単位での自発的な避難計画の作成や防災会議などの活動ができる啓発支援も必要と考えています。

演 脇 多くの課題が出てきているので改善しながら次の訓練につなげていただきたい。今行

っている避難訓練が実践で対応できるかどうか不安が残る部分もある。避難訓練・避難個所の検討や情報発信に工夫してもらいたい。

演 脇 葉たばこ農家の育成を図り、安定経営を確立するための取り組みは。

町長 葉たばこを取り

巻く状況は依然として厳しい状況にあります。栽培条件を改善するために、防風ネットの導入を予算計上しています。たばこ指導班会及びたばこ耕作組合と連携をとりながら、生産振興に向けて生産者の意見を反映させていければと考えています。



▲納官校区防災訓練

葉たばこ農家対策は防風ネットの4分の1を補助

演 脇 葉たばこ農家の育成を図り、安定経営を確立するための取り組みは。

町長 葉たばこを取り

巻く状況は依然として厳しい状況にあります。栽培条件を改善するために、防風ネットの導入を予算計上しています。たばこ指導班会及びたばこ耕作組合と連携をとりながら、生産振興に向けて生産者の意見を反映させていければと考えています。

演 脇 防風ネットの導入を予算計上しています。たばこ指導班会及びたばこ耕作組合と連携をとりながら、生産振興に向けて生産者の意見を反映させていければと考えています。

演 脇 ドリフト対策はどのように指導しているのか。

町長 防風無線等で対策を講じながら、農地集積の中でも検討していく必要性があると思っています。関係団体と連携を取りながら対応を考えています。

演 脇 葉たばこ生産者を取り巻く環境は、後継者不足や高齢化により大変厳しい状況にあります。こういう時こそ行政が手を差し伸べるべきだと思います。



よいらーいき祭り

役場前で実施できないか

町長／現時点では難しい

山元 みさ子 議員

山元 「まちづくり」において、町民参加の祭り

山元 夜の祭りが役場前から運動公園に変わった理由は。

町長 花火の打ち上げ場所が、当時は野間小学校校庭で、祭り会場に近すぎることが大きな理由です。

山元 南種子町口ケツト祭りでは近くに民家があるが、打ち上げ時間には退避してもらおうとのこと。元の役場前に戻すことはできないのか。

町長 祭りのメインである花火打ち上げの規制、駐車場の確保等問題があることから、現時点ではかなり難しいのではないかと思われま

が進められていると思いますか。

町長 高校生の運営参加、子ども鉄砲隊のパレード参加などの新しい取り組みもあり、よさこい踊りは地元チームの育成が図られ島内チームのみで盛り上げました。今後も、町民参加の祭りが実施できるよう、企画委員会主体に検討していきます。

山元 よいらーいき祭りの検討委員会では、どのような話し合いが行われているのか。

町長 企画委員会は、毎年中身が偏らないよう趣向を凝らしながら内容の立案をしています。また、実行委員会では、祭りの企画運営に関して、具体的協議を行いながら、関係団体に協力依頼をし、会においてアイデアを出しながら意見交換を進めています。

山元 反省とか問題点とか具体的に話していただきたい。

企画課長 一般公募して、飛び入り参加でみんなが自由に楽しめる取り組みをとっている意見や雨天になった場合の対応も十分検討したいということが出ています。

山元 国道58号線にも提灯と祭りの立て看板を設置すれば、町外の人にも発信できるのでは。御輿で、音楽がなく、高揚感が感じられなかった。検討委員会のメンバーは、現在充て職で、今後考えていくべきでは。

町長 今後、必要であれば新たな分野のメンバーも加えていくこともあろうかと思えます。

競り市場の環境整備について

山元 広場の審査会場

には屋根がなく、数頭の牛がたらたらとよだれを流していました。それで、競り市場に屋根を付ける考えは。

町長 市場は種子屋久農協の財産で、当初設置される計画であったが、予算の関係でできず現在に至っています。8月共進会が連日猛暑の中実施され、日よけとなる屋根の必要性を感じたところです。本町の第1次産業生産額において、畜産は大きなウエイトを占めており、現在耕畜連携等含め推進をしているところです。農協の主導で、この事業が進んでいくことを強く要望してまいりたいと考えています。

山元 牛も熱中症になつて体調を崩すことも考えられます。良い環境の中で良い牛を選出してもらおう。このことが種子島の評判が良くなり、畜産振興にも貢献で

きると思います。町として協力もあっていいと思うが、金銭的な協力はできないのか。

町長 施設の利用者が屋久島を含めた1市3町となっているようので、検討する必要性はあると思いますが、現時点で、町としてそれを負担して作らせようという認識は今のところございません。

山元 1市3町で負担配分などを考えて、対応をこれからもぜひ考えていただきたい。



▲畜産共進会

《所管事務調査報告》 産業厚生常任委員会

産業振興について

去る7月11日福岡県みやこ町を訪ねジビエによる取り組み状況を調査研修しました。

みやこ町は福岡県の北東部に位置し、南は大分県に接し、山に囲まれた自然豊かな中山間地域で水稲やタケノコ等の農林業が主の町です。

町では、鳥獣による被害防止対策と併せて捕獲した鳥獣の肉を有効活用するため加工施設を建設しジビエによる町おこしに取組み、平成20年度に施設建設を検討し補助事業を活用して総事業費4500万で整備、22年4月から稼働、当初町の管理運営から現在は民間へ業務委託している。

当初は精肉としては需要が少なく、加工品として試行錯誤しながらジャーキー・ハム等を作り、また地元の高校と協力してミートソーの素を開発し新商品として販売する予定です。

主な質疑

問 農産物に対する鳥獣被害は。

答 被害全体の6割がイノシシ・シカで、被害農産物は水稲・野菜等が主なものです。

問 みやこ町の駆除対策は。

答 猟友会に年間を通して国の補助金や町単独事業で奨励金を交付して駆除を依頼している。

問 ジビエ祭りの開催と今後の展望は。

答 観光協会主催のジビエ祭りでコンテストを実施したり、福岡で開催された全国ジビエ祭にも参加するなど今後もイベント等続けていきたい。

問 ジビエに取り組む上の注意点は。

答 販路を事前に確保しておくこと。

また、シカ1頭で食肉が2割程度しかとれないため、買取りと販売価格設定に十分な検討が必要。
との回答。

まとめ

加工施設については、捕獲したシカを地域資源として活用する有効なものとなり得る可能性も期待できるが、施設設備に係る経費、加工品開発・販路の確保など、みやこ町の担当者からの指摘も十分踏まえ、慎重に検討すべきとの委員全員の一致した意見でした。

意見交換

問 種子島からの取引農産物と金額は。

答 総額約7500万円、内6000万円が安納芋で、その他バレイショ、カボチャ、スナックエンドウ等約1500万円です。取引先は種子屋久農協等10業者あります。

問 本町のタケノコ(ニガダケ)の商品化と販売については。

答 長期間冷蔵庫の中で保存ができれば安定



▲北九州中央卸売市場

まとめ

また、缶詰にして消費者がいつでも食べられる工夫が必要。
との回答。

卸売市場を取り巻く環境は消費者ニーズの多様化等により大きく変化してきています。本町の生産者がいかに品質の良い農産物をつくり市場、消費者との信頼関係を築くかが重要で、そのためには人材育成や専門的な技術員が必要であり、行政と一体となって取組むことが重要であると委員全員の一致した意見でした。



▲「みやこ町」食肉加工施設

公立種子島病院組合議会第2回定例会

日高和典議員一般質問



日高和典議員

医師確保への今後の取り組みと対策は
各関係機関との連携を図る対策を進めている

日高 現在、3人の内科医師で診療を行っております。町民の医療不安解消と医療の充実に、医師不足は大きな要因であります。医師確保への今後の取り組みと対策は。

名越管理者 県内の医療法人が8箇所、自治体病院で6箇所、地元大学を含め4大学、福祉施設、地元出身医師及び会社経営者等、沢山の関係機関団体や個人に至るまでお願いしています。



▲ 公立種子島病院

後、2年後または数年後を見据えた関係機関との連携を図る対策を進めています。今後の取り組みと対策としても、これまでのように地元大学や医療法人等との連携を図り、情報を共有します。離島へき地医療の中で自治体病院の目指す役割を働きかけ、信頼を回復しつつ安定的な医師確保に向けて全力で努めて参ります。

病院経営の累積赤字についての見解は
公共の福祉の立場を踏まえながら鋭意努力していく

日高 平成27年度純損失額は835万円です。また、平成28年7月31日現在5億8415万円の累積赤字であります。管理者としての見解は。

名越管理者 地方財政制度上の公営企業に位置づけられており、地方公営企業法の財務規定等が適用される病院で

す。最小の経費で最大の効果を上げなければならぬと定められています。企業としての経済性の追求と公共的な目的の追求との均衡とで経営していかなければなりません。あくまでも、企業としての独立採算の追求をするだけではなく、公共の福祉の立場を踏まえながら鋭意努力していきます。

医療体制の現在の状況は
医療体制の充実の実現・解決は厳しいものがある

日高 医療行政が、安定的に長期的に提供できる体制を作ることが私に課せられた責務と使命です。と昨年9月定例会において答弁されました。現在の体制状況は。

田淵川副管理者 現在午前診療という事で、両町民にはご迷惑をお掛けしています。医療福祉行政を安定的に長期的に提供しなければならぬと強く感じています。私も就任以来、人口減と高齢化問題の中で医療体制の整備が重要であると認識しています。

日高 名越管理者、田淵川副管理者が、この公立種子島病院を何とかしないとイケないという気持ちで今以上に強く、そして真剣に考えれば必ず道は開けると思っています。色々な意見を集め、必要な医療を継続的に提供できる病院になることを願っています。

一部事務組合議会 熊毛地区消防組合

● 28年第1回臨時議会
(7月1日)

第1回臨時議会において、中種子分遣所に配備される「動力ポンプ付10トン水槽車購入」契約について可決されました。購入金額は、5097万円です。



▲ 10トン水槽車

決算特別委員会を設置

平成27年度各会計の決算については、決算特別委員会で審議します。

決算特別委員会は、平成28年9月27日から30日までの4日間開催され、各決算内容を審査し、12月定例会で委員長が報告します。

議長が指名した決算特別委員は次の8名です。



▲現地調査（自然レクリエーション村）

委員長 下田 敬三
副委員長 迫田 秀三
委員 濱脇 重樹

日高 和典
徳永 紹道
池山 朝生
永濱 一則
徳永 留夫

臨時議会

平成28年第3回臨時議会

●平成28年度中種子町一般会計補正予算(第3号)

7月7日から11日の梅雨前線による集中豪雨により災害が発生したため、復旧に係る経費と、8月26日に開催される県消防操法大会出場に係る関連経費等を計上するもので、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2670万円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ67億5559万円とするものです。



▲鹿児島県消防操法大会



▲農地災害

条例

●中種子町私債権管理 条例

中種子町水道事業の私債権の管理に関する事務処理について、必要な事項を定めるものです。

●私債権とは…

契約等の当事者間の合意（私法上の原因）に基づき発生する債権で、公債権と異なり、債務者は不服申立できません。

その他

字の区域の変更

平成25年度において、県営中山間地域総合整備事業中種子地区で水田区画整理事業を実施した、納官浦団地と大牟礼団地の換地処分に伴う、同区域内の字の区域を、地方自治法第260条第1項の規定により変更するものです。

平成27年度健全化判断比率及び資金不足比率について

地方財政健全化法で、地方自治体は「実質赤字比率・連結実質赤字比率・実質公債費比率・将来負担比率」の4つの財政健全化比率の指標について毎年公表することになっており、1つの指標でも早期健全化基準以上となった場合には、財政健全化計画を策定しなければなりません。

また、公営企業についても資金不足比率の公表が義務づけられ、基準以上になった場合は経営健全化計画を策定しなければなりません。

本町の各指標につきましては、実質赤字比率及び連結実質赤字比率はありません。実質公債費比率は8.1%で、前年度に比べ1.1ポイント減少、将来負担比率は31.6%で

平成26年度決算の健全化判断比率

指標の名称	比率	早期健全化基準
実質赤字比率	なし	15.0%
連結実質赤字比率	なし	20.0%
実質公債費比率	8.1%	25.0%
将来負担比率	31.6%	350.0%
資金不足比率	なし	20.0%

前年度に比べ3.9ポイント増加しています。いずれの指標も現時点では、早期健全化基準を下回っている状況です。

また、水道事業会計、簡易水道事業特別会計及びと畜場特別会計につきましても資金不足比率はありません。

固定資産評価審査委員会委員の選任

中種子町の固定資産評価審査委員会委員として、

- 塩浦 守男氏(梶湯)
- 池山 孝治氏(中田)
- 光 紀義氏(春田)

3名の選任につき同意がなされました。

教育委員会委員の任命

中種子町の教育委員として中村眞一氏の同意がなされました。

3期目で、今後4年間の任期となります。



中村 眞一氏

町立体育館大規模改修工事請負契約について

契約の目的

町立体育館大規模改修

契約の方法

指名競争入札による契約

契約の金額

一金9136万円

契約の相手方

鹿児島県熊毛郡中種子町野間5122番地8

日高・池山特定建設工事共同企業体

代表者

(株)日高工務店

代表取締役 日高政浩

地方自治法第96条第1項第5号の規定により議決がなされました。

一般質問進捗コーナー

平成26年9月議会 徳永留夫議員
超高速ブロードバンドの必要性は。

町長／住民からの要望、現状の環境活用方法などの調査と検討を行う。

平成27年12月議会 徳永留夫議員
超高速ブロードバンドの取り組みは。

町長／事業実施を前提で調査・研究を行っている。28年度から年次的に、各交換局ごとに町内全域整備を進めていきたいと考えている。

現在

現在／中種子交換局を整備中、29年6月から供用開始予定。浜津脇・坂井両交換局は平成29年度から整備開始し、30年6月から供用開始予定。

議会傍聴においでください。

平成28年12月議会は7日に招集される予定です。

町民の皆様には町議会の活動や町政の進め方などをよく知っていただくために、町議会では、できるだけ多くの方が傍聴されることを望んでいます。

町議会の本会議は、いつでも、だれでも傍聴できます。

議会事務局で傍聴券を交付します。議長や係員の指示に従い、静かに傍聴しましょう。

開会日前には防災無線でお知らせします。

議会の動き



9月	10月	11月
7日 議会運営委員会	7日 熊毛地区ホルスタイン共進会	5日 関東中種子会総会
8日 熊毛地区畜産共進会	8日 ふるさと交流親善ゴルフ大会	8日 全国離島振興議長会全国大会
11日 中学校体育大会	10日 町民体育祭	9日 全国町村議長会全国大会
14日 9月定例会（～21日）	18日 全国離島振興議長会理事会	10日 熊毛地区町議会議長会行政視察
18日 野間小学校運動会	21日 熊毛地区消防組合議会定例会	13日 町民文化祭
20日 中南衛生管理組合議会	23日 種子島海上保安署開所式	15日 鹿児島県離島議長会行政視察
25日 町内小学校運動会	24日 産婦人科医院組合議会定例会	20日 町駅伝競走大会
27日 決算特別委員会（～30日）	27日 離島振興懇談会	27日 種子島相撲大会
	30日 町相撲大会	

編集後記

畑の土手には彼岸花が咲き誇り、秋の到来を感じさせます。各小・中学校においては運動会が盛大に開催され、また、町民体育祭も雨にも関わらず多くの町民が参加し、増田校区の2連覇で無事終了しました。これからも、相撲大会や駅伝大会と「スポーツの秋」は続きます。選手の皆様のご活躍を期待いたします。

さて9月から10月にかけての台風は、農作物に多少なりとも影響を及ぼしましたが、甚大な被害にまでは至らず、農家の方々もホッと胸をなでおろしたことと思います。

今年には豊作が見込まれます。収穫も始まり、忙しい日々が続いていると思います。季節的にも体調を崩しやすくなりますが、くれぐれもお体にはご自愛いただき「実りの秋」を迎えてほしいものです。

山元みさ子

広報編集委員会
委員長 日高和典
副委員長 蓮子信二
委員 戸田和代
池山朝生
永濱一則
山元みさ子

